

テーマ5：観光振興のための二次交通（4件）

5-1 【秋田市、30代】

テーマ3の回答と同様にライドシェアと自動運転によるサービスで交通を支える。

5-2 【神奈川県、40代】

交通が便利になれば、観光振興も進むのではないか？という発想でよろしいでしょうか。

であれば、まず秋田の観光資源の人気アップを図るのが先です。

交通がいくら便利になっても、行きたいと思わなければ行きません。

観光地が人気になれば、自然と交通業者もどんどん参入してきます。

まずは、各観光資源を世界中でバズらせる（流行らせる）施策が必要です。

もし二次交通に関して何かするのであれば、違法、違法すれすれ、その他質の悪い業者を排除するよう、あらかじめ条例整備をすれば十分でしょう。

5-3 【大仙市、30代】

突然メールを拝送することをお許してください。

いつもお世話になっております。ありがとうございます。

早速ですが、小林よしのり氏の脱原発論やキューバを参考に空港や駅から観光地までの交通のあり方を考えると、

県内外の人と協力して一車線の所を2車線にしたり、秋田ならではのもみ殻や間伐材を道路のアスファルトの代わりにならないか比較、研究開発したり、秋田ならではの自然エネルギーを使った雨水とかダムの水とか海の水くみ上げて使った24時間融雪できる道路網やそれを洗い流す設備、電気自動車やバス、鉄道、飛行機を作って、それらと秋田県ならではの菅江真澄の道とか祭りとか人数を限定した観光ツアーを作って県内も県外の人たちも楽しめるようにすると良いかな自然にも人にも優しい秋田県というので都会に疲れた人とかに来て、住んでもらうと良いかなと思いました。

以上、秋田県の皆さんの増々のご活躍ご健勝お祈り申し上げます。

5-4 【秋田市、70代】

(1) 電車…①既存の列車のレイル幅とおなじくする（秋田駅～空港だけでなく多様な利用）

②自転車に乗せるスペースを作る（自転車での観光を進展）

③中央通り、山王通りを大幅に拡張（電車の他、自転車道、街路樹2列、街路樹の間は駐輪スペース）、パリのシャンゼリゼ参考、リクル交通機関の場所

(2) 秋田市中心部の地下道の設置…間氷期、エルニーニョ現象、地軸の変化等気候が極

端に変化に対応

- ①温暖化の酷暑対応、寒い季節や風雨でも気持ちの良い観光（地元市民の使い勝手）
- ②核あるいは緊急の対策のシェルターとしての避難場所
- ③電動車いす、電動キックボード、高齢者や主婦の自転車等も走れるように、入り口には傾斜エスカレーターの設置